

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	after-school programるくーる		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 20日		2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 20日		2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	提携園との協力により、密に児童の連絡を取れることで「今一番児童が困っていること」にアプローチできる。	送迎時に必ず園の職員と会話し、当日のご様子や園での日常を伺いすぐに職員間で情報共有し、支援に反映する。	定期的に園への訪問時間を設けて、集団生活の中での児童の様子を確認し、個別支援でのアプローチに反映を図る。
2	1or2名のみの個別療育の為、集団活動が苦手な児童に自信をつける機会を設けられる。	スモールステップを大切に「できた!」の成功体験を積み重ねながら支援を実施。	児童の発達に合わせた、より細かなステップを準備できるよう多くの保育所・幼稚園教諭経験のある支援者による療育に取り組みます。
3	放課後等デイサービスとの多機能型であるため継続した支援が可能。	卒園後、入学までの期間も継続してお預かりし、春休み期間中の小学生と交流を持つ機会を作ることで、スムーズな入学準備の一端を担う。	子ども同士の関わりだけでなく、地域とのつながりを意識した取り組みについても検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出プログラムがない。	短時間での療育の為、公園などの外出が困難。	園でのお出かけや、公園遊びなどに同行し、児童の外出時での行動を観察する機会を設けていきたい。
2	ペアレントトレーニング等、家族支援プログラムの実施には至っていない。	共働きの両親が多く、平日午前中に時間を設けるのは困難である。	保護者向けの情報提供や関わり方の共有の機会を、無理のない形で充実させていく。
3	保護者同士の交流や家族向けのイベント等の機会が設けられていない。	共働きの両親が多く、平日午前中に時間を設けるのは困難である。	保護者同士が交流できる機会の実施について検討していく。